61th Business Report

第61期
株主の皆様へ

平成23年4月1日▶平成24年3月31日

Contents

私たちってこんな会社です！…… 1
連結財務ハイライト…… 2
トップインタビュー…… 3
セグメント別の概況…… 5
トピックス　広がる事業領域…… 7
NEW！ …… 8
特集・TK60年の歩み…… 9
連結財務諸表…… 11
会社情報…… 13
株式情報…… 14

高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

証券コード2676

企業理念

技術商社として、「創造」を事業活動の原点に据え

- テクノロジーをとおして、お客様のご満足を高めます。
- 技能と人間性を磨き、世界に通用する信用を築きます。
- 力を合わせて、豊かな未来を拓き、社会に貢献します。

私たちってこんな会社です！

Technology ■ テクノロジー

「技術商社」として世界の先端技術商品を市場に提供し、顧客企業の価値向上に貢献します。
その土台となるのが、全社員の43%を占めるエンジニア系社員です。

Top share ■ トップシェア

万引き防止システムや、ATM向けのスライドレール市場で、国内トップシェアを誇ります。
豊富な経験・ノウハウを活かし世界でのシェア拡大を目指します。

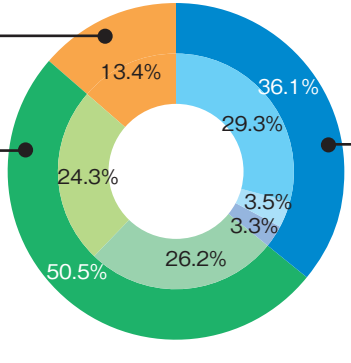
New business ■ NEWビジネス

持続的な成長サイクルの確立を図るため、新規（事業・市場・商品）の創出をテーマに活動を強化しています。また、今期末に子会社化したマイティカード社とのシナジー効果を最大化すべく注力します。

Global ■ グローバル

米国・香港・上海のほか、今期新たに加わったバンコク（タイ）を拠点として、グローバルビジネスを本格的に推し進めます。

セグメント別：主要取扱い品目と売上構成比



カストマ・サービス

システム機器の設置・保守、コンサルティング及びシステム設計、システム運用受託など

デバイス

電子商品類

半導体、シリコンマイク、各種センサーなど

産機商品類

スライドレール、ガススプリング、昇降システムなど

システム

セキュリティ商品類

リテール：万引き防止システム、CCTVシステム、入店カウンターシステムなど
オフィス：入退室管理システム、資産持出し防止システムなど

メーリング商品類

メールインサーティングシステム、アドレッシング用インクジェットシステム、ラベリングシステムなど

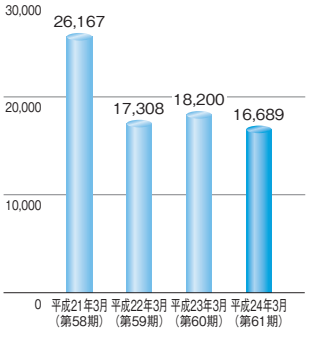
その他商品類

ネットワークセキュリティ関連機器、RFID図書館システムなど

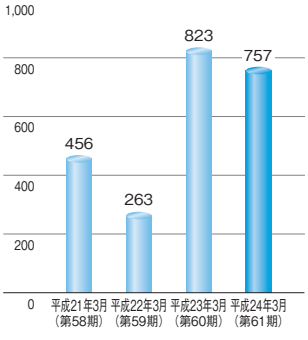
連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

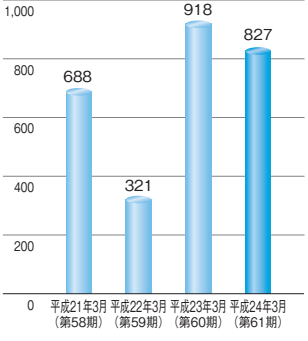
売上高 （単位：百万円）



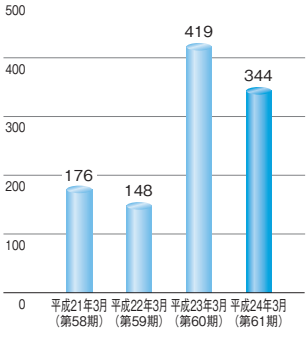
営業利益 （単位：百万円）



経常利益 （単位：百万円）



当期純利益 （単位：百万円）



平成24年3月期（第61期）決算のポイント

システムセグメントが好調も、減収減益計画を覆すには至らず

- 電子商品類を除く全ての商品類で増収
- しかしながら主要仕入先との代理店契約解消の影響を補うに至らず、前期比では減収減益

売上総利益（粗利益）率が大幅に改善

- 付加価値提案型ビジネスの強化により、売上総利益率が前期の25.2%から27.8%へと大幅に改善

*P12 連結損益計算書 CHECK POINT！参照。

次期見通しのポイント

- 今期、子会社化した2社の販売実績化や電子商品類の持ち直しなどにより、増収計画
- 各利益は、約2億円ののれん償却負担を吸収し増益を見込む

平成25年3月期 連結業績予想

売　上　高	19,000百万円	（前期比 13.8%増）
営 業 利 益	820百万円	（前期比 8.3%増）
経 常 利 益	840百万円	（前期比 1.6%増）
当期純利益	420百万円	（前期比 21.9%増）

トップインタビュー

TOP INTERVIEW

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
当社第61期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の事業活動の概況をご報告申し上げます。

平成24年6月
代表取締役社長　戸田 秀雄

Q まずは平成24年3月期業績の総括をお願いします。

この平成24年3月期は、「強固な収益基盤の実現」を事業方針に掲げました。その意味するところは、それぞれの事業がコスト構造の見直しなどにより収益性を高めるとともに、新たな成長を見据え、既存事業の競争力強化と新市場開拓・新商品発掘などにより収益の裾野を拡げ、自立的な成長サイクルを確立することを指しています。

こうした方針の下に運営してきた平成24年3月期は、電子商品類の主要仕入先との販売代理店契約解消の影響から、前期比では減収減益となりましたが、計画に対しては、システムセグメントの好調などを主因に、売上高は計画並み、営業利益、経常利益については、計画を上回る水準で着地することができました。

上述の方針に対して、特に成果が表われた事業としては、セキュリティ商品類と産機商品類の2つが挙げられます。セキュリティ商品類においては、ターゲット市場と位置付けたGMS（総合スーパーマーケット）市場で大型案件を獲得したことや、EAS（万引き防止システム）の未導入市場である食品スーパー市場の開拓に向けたロス削減モデルを確立できたことは評価できると考えています。また、産機商品類においては、新商品「TKマイクロレール」を軸に、これまでレールが使われていなかった遊技市場を開拓し、収益基盤を拡げることに成功しました。

こうした成果が表われた一方で、個別に見るとまだまだ「強固な収益基盤の構築」には至らない事業もあり、中でも電子商品類においては大きな課題が残りました。電子商品類では、遺憾ながら減収の計画を立ててスタートしましたが、新たに販売代理店契約を締結した新サプライヤー商品の販売立上げの遅れなどにより、計画水準をも下回る結果となりました。

今後は、この成果と課題を次なる戦略へと展開させ、戦略の確実な実行を通して、事業成長を目指してまいります。

Q マイティカードを買収し、子会社化したようですね。

平成24年3月15日にRFID技術の国内リーディングカンパニーであるマイティカード㈱の株式を取得し、子会社化しました。

RFIDは、バーコードに代わる画期的な技術として早くから注目されてきましたが、現在その普及は一部の市場･用途のみに限定されているのが実情です。

しかしながら最近では、当社のお客様である小売業において、在庫オペレーションの効率化等を目的に、製造から販売までのバリューチェーンの中でRFIDを用いた在庫･流通管理システムの導入が検討され始めており、さらには本年7月にRFIDの周波数が、米国をはじめとする海外と共通化される予定であるなど、ようやくRFIDが本格的に普及する時代が到来したと考え、買収に踏み切りました。

当社では、このRFID技術を用いたシステムを中心としたリテールソリューション事業を、当社の中期的な成長戦略の柱の一つと位置付け、事業を展開したいと考えています。

Q 平成25年3月期はどのような見通しですか。

平成25年3月期の見通しとしては、売上高190億円、営業利益8億20百万円、経常利益8億40百万円、当期純利益4億20百万円と、平成24年3月期に実施した2案件（Takachiho Fire,Security & Services（Thailand）Ltd.及びマイティカード）の買収に伴うのれん償却負担を吸収して、増収増益を計画しています。

具体的には、新たに加わった2社の販売貢献のほか、今期不振に終わった電子商品類の回復等を見込んでいます。その回復策としては、通信基地局や医療機器など、より高付価値提案が求められる産業機器市場をターゲットに定め、当社独自の技術力が活かせる商材に特化することで、専門性の高い事業構造へと変革を果たします。また今期、販売の立上げが遅れた新サプライヤーの新商品販売にも注力し販売額の底上げを図ってまいります。

Q 株主還元について

当社は、創立から今日に至るまで、企業理念である「創造」の精神の下、世界の先端技術･商品を日本の市場に紹介することを使命とし、事業活動を行ってまいりました。そして、平成24年3月13日におかげさまで創立60周年という節目の年を迎えることができました。

そこでこの度、株主の皆様の長年に亘るご支援に感謝の意を表し、記念配当5円を実施することといたしました。

また、普通配当につきましては、安定･継続的に行うという当社配当方針と今年度の業績とを勘案し、前期末と同じく12円といたしました。よって当期末の配当金は、普通配当12円と記念配当5円とを合わせて1株あたり17円（年間29円<うち中間配当12円>）といたしました。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

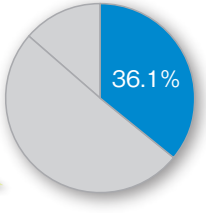
セグメント別の概況

システム：セキュリティ商品類をはじめとする全商品類で増収

デバイス：産機商品類堅調も、電子商品類が大幅減収

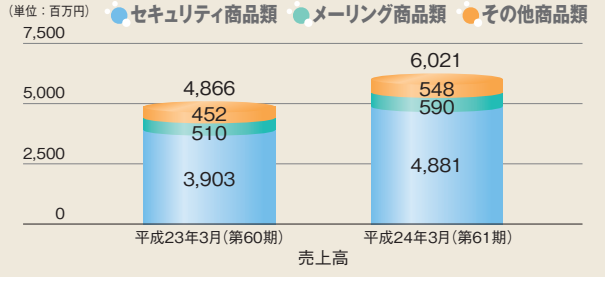
カストマ・サービス：システム機器の納入・設置案件増加により増収

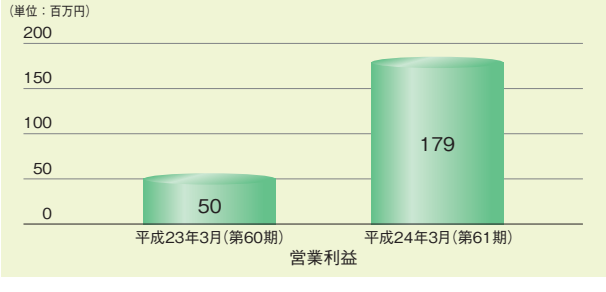
システム　売上高は前期比23.7%増の60億21百万円、営業利益は前期比256.7%増の1億79百万円



売上高
23.7%増

営業利益
256.7%増





セキュリティ商品類（前期比 25.1%増）

GMS(総合スーパーマーケット)市場での大型案件獲得のほか、家電市場への自鳴式タグシステム販売が進んだことや、買収したタイ子会社の販売貢献などにより、売上高は前期比25.1%増の48億81百万円となりました。

その他商品類(前期比 21.2%増)

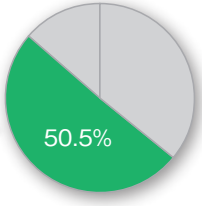
公立図書館へのICタグの導入が進んだことなどから、売上高は前期比21.2%増の5億48百万円となりました。

メーリング商品類(前期比 15.8%増)

セキュリティ機能付き高速インクジェットプリンターの販売が振るいませんでしたが、主力のメールインサーティング･システムの大型案件を獲得したほか、自社開発の封入封緘運用総合管理システム(TQM)の販売が好調に推移したことなどから、売上高は前期比15.8%増の5億90百万円となりました。

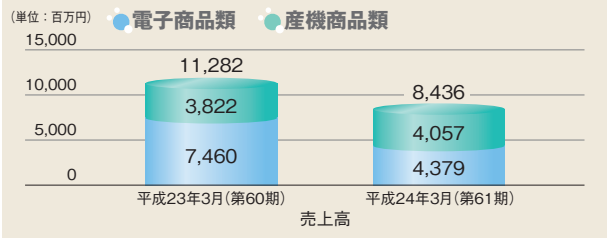
※システムセグメントの事業区分変更に伴い、前期実績を当期基準に組み替えて比較しております。

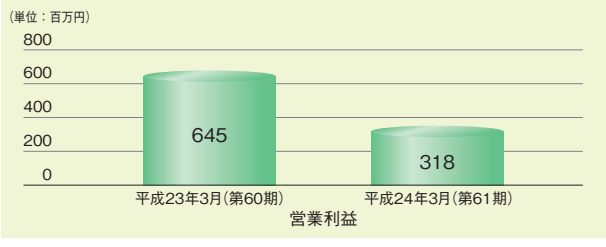
デバイス　売上高は前期比25.2%減の84億36百万円、営業利益は前期比50.8%減の3億18百万円



売上高
25.2%減

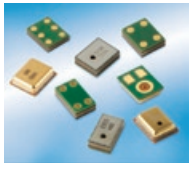
営業利益
50.8%減





電子商品類(前期比 41.3%減)

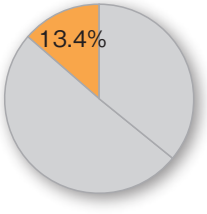
新商権を獲得し、新たな商品の販売を開始したほか、産業機器市場向けへの販売活動等を強化しましたが、主要仕入先との販売代理店契約解消の影響を補うには至らず、売上高は前期比41.3%減の43億79百万円となりました。



産機商品類(前期比 6.1%増)

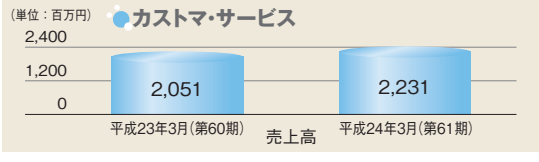
複合機向け機構部品の販売が振るいませんでしたが、震災の影響で出遅れた主力のATM(現金自動預け払い機)向け機構部品の販売が、今期後半に持ち直してきたほか、前期立ち上がった遊技市場向け機構部品の販売が好調に推移したことなどから、売上高は前期比6.1%増の40億57百万円となりました。

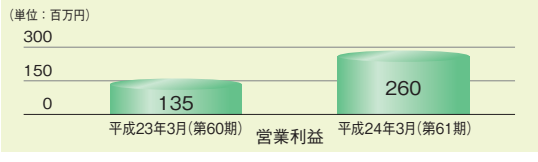
カストマ・サービス　売上高は前期比8.8%増の22億31百万円、営業利益は前期比91.9%増の2億60百万円



売上高
8.8%増

営業利益
91.9%増





システム機器の納入設置案件が増加したことなどから、売上高は前期比8.8%増の22億31百万円、営業利益は前期比91.9%増の2億60百万円となりました。

RFID技術の国内リーディングカンパニー：マイティカードを子会社化

マイティカードの技術力と、当社の販売網の融合により、事業拡大を図る

株主の皆様は、「RFID」*という技術をご存知ですか?

「RFID」という言葉は一般的にはまだ聞き慣れないものですが、電子乗車券の「Suica」（JR東日本）などに代表される非接触型のICカードや、入退室管理システムなどもRFIDの一種で、既に私達の生活に浸透し始めている次世代の自動認識技術です。

その応用として、当社のセキュリティ事業の主なお客様である小売業では、製品の製造から流通、陳列、販売に至るまでを一元的に管理するために、「RFID在庫･流通管理システム」の導入が検討され始めるなど、RFID技術の需要は徐々に高まりを見せています。

電子乗車券

入退室管理システム

そうした中、当社は中期的な成長戦略の一つとして、平成24年3月にマイティカード㈱を子会社化しました。マイティカードは、RFID技術のリーディングカンパニーで、同社のRFIDシステムは、既に倉庫や物流センターなどの物流市場をはじめ、小売店やデータセンター、建築現場等において、商品や資産、資材、廃棄物などの管理を目的に幅広く活用されています。

当社は今回の子会社化を通じて、長年に亘り培った小売業への販売ノウハウと、同社が持つ優れた技術力とを融合させることで、ビジネスの拡大を目指します。

マイティカード 導入事例：日本パレットレンタル様

パレット専用RFIDタグ

RFIDタグをパレット（荷物を載せるための荷役台）に取り付けることで、荷物の流通経路をリアルタイムに確認できるほか、不正使用の抑止などが可能になります。

*「RFID（Radio Frequency Identification）」

バーコードに代わる次世代の自動認識技術のこと。

物品の情報を記憶する半導体チップと通信用のアンテナを組み込んだRFIDタグを物品に取り付け、それを電波で読み取ることにより、一点、一点スキャンをするバーコードに比べて、一度に多数の物品情報を自動的に認識できる。

本年7月には、国内のRFID周波数が海外と共通化されるため、本格的なRFIDシステム活用の到来が予測されています。

高千穂交易　ホームページ全面リニューアル

前回の「第60期 株主の皆様へ」で実施させていただいた株主アンケートでは、「高千穂交易のIR活動について、充実を希望するものは何ですか?」の問いに対し、「ホームページの充実」を挙げる株主様が、最も多くいらっしゃいました。当社では、そうした株主様のご意見を踏まえ、平成24年3月にホームページの全面リニューアルを行いました。

トップページ画面

IR情報 ライブラリーページ画面

新ページでは、アクセスしていただいた方がよりスムーズに必要な情報を入手できるよう、情報の拡充をしたほか、メニュー構成を見直し、ナビゲーションの充実を図りました。

デザイン･機能面では、画面サイズの幅を広げ、文字サイズやボタンサイズを拡大し、「プルダウン機能」や「検索機能」を設けることで、より使い勝手の良いページとなるよう改善しました。

「IR情報」ページでは、写真やグラフを多用すると共に、「ライブラリーページ」を設け、文書を効率的に閲覧いただける構成としました。

URL　http://www.takachiho-kk.co.jp

当社ではホームページを企業の「顔」と捉え、今後もタイムリーかつ積極的な情報発信を展開いたします。

高千穂交易は、おかげさまで2012年3月13日に創立60周年を迎えることができました。今後も、“創造”の精神で、未来を切り拓き、市場に新たな価値を提供し続けます。

当社は戦後の混乱がなおも残る1952年に神戸で創業し、同年、米国バロース社(現日本ユニシス社)との日本総代理店契約を皮切りに、エレクトロニクスの技術商社として、スタートを切りました。

沿革にもあるとおり、当社は「日本初」となる製品を多数お客様にご紹介し、日本国内のビジネスや技術革新を支えてきました。当社の歴史は、日本と世界の文化交流の歴史であり、まさに新たな市場創造の歴史と言えるでしょう。

当社はいかに時代が移り変わろうとも、“創造”の精神の下、新たな価値を追求し続け、皆様の「安心・安全・快適」な社会の実現に取り組んでまいります。

半蔵門ビル

万引き防止システム

音声認識装置

会計機

OCRシステム

漢字情報処理システム

アナログ音声デジタル化電話機

1950～

1952 神戸ガナイト株式会社設立。土木建設機械の輸入・販売、施工指導を開始。
1952 米国バロース社(現日本ユニシス社)の会計機を販売開始。
1954 高千穂交易株式会社に商号変更。
1959 米国バロース社の電子計算機を販売開始。

1960～

1963 日本初、OCR(光学的文字読取)システムを販売開始。
1968 日本初、キー・ツー・テープデータ入力装置を販売開始。
1968 半蔵門ビル完成。
1969 米国チェシャー社のラベリングマシンを販売開始。

1970～

1970 日本初、万引き防止システムを販売開始。
1970 米国ジョナサン社のスライドレールを販売開始。
1970 日本最高速モデムを販売開始。
1970 日本初、漢字情報処理システムを開発・販売開始。
1971 スイス・カーン社の自動封入封緘システムを販売開始。
1971 各種半導体を販売開始。

1980～

1981 日本初、米国センチグラム社の音声認識装置を販売開始。
1983 日本初、アナログ音声をデジタル化するデジタル電話を販売開始。
1985 ジェイエムイー㈱の株式取得。
1995 業界最高速のインクジェット・プリンティング・システムを販売開始。

沿　革

Takachiho Fire, Security & Services（Thailand）

マイティカード社

RFID図書館システム

※イメージ写真

チェックアウトマネジメントシステム

2000 ジャスダック証券取引所上場。
2000 米国Tyco社の入退室管理システムを販売開始。
2001 高千穂交易(香港)を設立。
2002 高千穂コムテック㈱を設立。
2002 ㈱エスキューブの株式取得。
2004 東京証券取引所第二部上場。
2005 東京証券取引所第一部上場。
2005 スイス・ビブリオテッカ社のRFID図書館システムを販売開始。
2007 提凱貿易(上海)を設立。
2009 メソッド社のラミネートバスバーを販売開始。

2000～

2010 業界最小最軽量クラスのスライドレールを販売開始。
2010 映像センシングサービスを販売開始。
2011 日本初、レジ待ち行列を解消するチェックアウトマネジメントシステムを販売開始。
2011 Takachiho Fire, Security & Services(Thailand)の株式取得。
2011 世界最高レベルの入退室管理システムを販売開始。
2012 マイティカード㈱の株式取得。

2010～

全社員参加型のプレゼン大会「みんなで創る未来コンテスト」を開催

高千穂交易では、創立60周年の記念行事として、『TKグループの「未来」を私たちの手で創ろう ～みんなで創る未来コンテスト～』と題する、全員参加型のプレゼン大会を開催しました。

これは社員の企画により実現した行事で、「誇りをもって働ける会社」、「独自の商品やサービスでもっとお客様に喜んでいただける会社」など、当社が自他共に認める魅力的な会社となるよう、未来を見据え、チーム毎に企画を練り発表を行ったものです。

2012年3月16日に開催された本戦では、予選を勝ち抜いた計6チームが、練習の成果を発揮すべく、それぞれ斬新かつ個性溢れるプレゼンを繰り広げました。

熱意溢れる発表の数々に、会場は大いに盛り上がりました。

創立60周年記念配当について

株主の皆様への感謝の意を表し、記念配当5円を実施しました。

■当期末の配当金：17円

（普通配当12円、記念配当5円）

連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位：百万円）

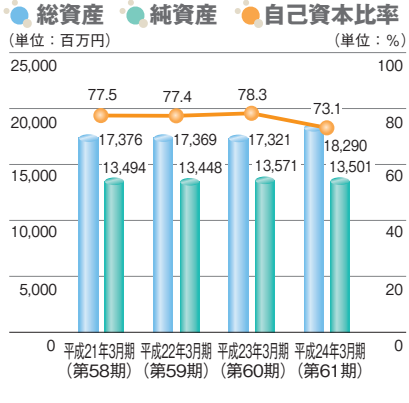
科　目	第61期 平成24年3月31日現在	第60期 平成23年3月31日現在	前期比 (%)	増減
（資産の部）				
流動資産	**15,458**	**14,949**	**3.4**	**509**
現金及び預金	6,492	6,742	△3.7	△250
受取手形及び売掛金	5,346	5,282	1.2	64
商品及び製品	2,026	2,094	△3.3	△68
固定資産	**2,831**	**2,371**	**19.4**	**460**
有形固定資産	**499**	**511**	**△2.2**	**△11**
無形固定資産	**1,170**	**133**	**776.4**	**1,037**
投資その他の資産	**1,160**	**1,726**	**△32.8**	**△566**
資産合計	**18,290**	**17,321**	**5.6**	**969**
（負債の部）				
流動負債	**3,894**	**2,855**	**36.4**	**1,038**
支払手形及び買掛金	2,563	1,830	40.0	732
固定負債	**894**	**894**	**0.0**	**0**
負債合計	**4,788**	**3,749**	**27.7**	**1,038**
（純資産の部）				
株主資本	**13,409**	**13,587**	**△1.3**	**△178**
資本金	1,193	1,193	—	—
資本剰余金	1,156	1,156	—	—
利益剰余金	11,357	11,255	0.9	101
自己株式	△298	△18	—	△279
その他の包括利益累計額	**△37**	**△26**	**△41.6**	**△11**
純資産合計	**13,501**	**13,571**	**△0.5**	**△69**
負債純資産合計	**18,290**	**17,321**	**5.6**	**969**

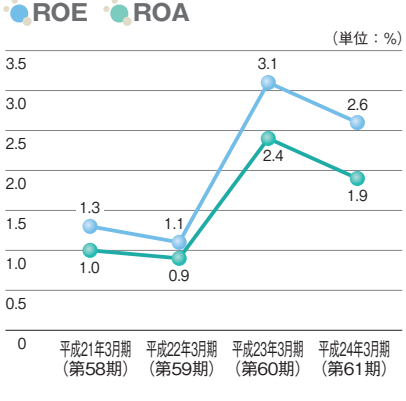
（注）記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

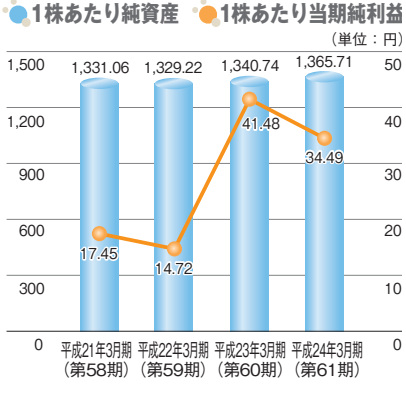
CHECK POINT

1 Takachiho Fire,Security & Services(Thailand)Ltd.及びマイティカード㈱の買収に伴い、のれんを9億97百万円計上したことなどから、無形固定資産が前期から大幅に増加しました。

2 株主還元の一環として、2011年11月に自己株式323,400株を総額2億79百万円で取得したことから、自己株式が増加し、株主資本全体を押し下げています。







連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	第61期 平成23年4月 1 日から 平成24年3月31日まで	第60期 平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで
売上高	16,689	18,200
売上原価	12,053	13,616
売上総利益	4,635	4,583
販売費及び一般管理費	3,877	3,760
営業利益	757	823
営業外収益	73	97
営業外費用	3	3
経常利益	827	918
特別利益	—	1
特別損失	26	155
税金等調整前当期純利益	800	764
法人税、住民税及び事業税	368	228
法人税等調整額	91	115
少数株主損益調整前当期純利益	340	419
当期純利益	344	419

（注）記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ･フロー計算書

（単位：百万円）

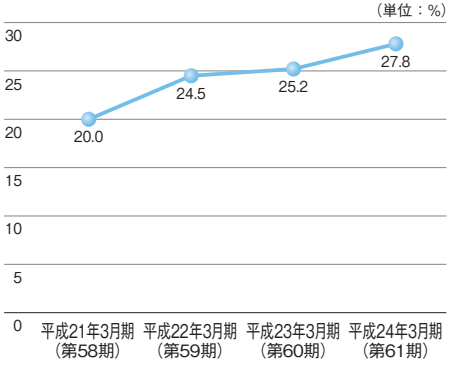
科　目	第61期 平成23年4月 1 日から 平成24年3月31日まで	第60期 平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	1,813	1,368	444
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,738	△455	△1,282
財務活動による キャッシュ・フロー	△524	△246	△278
現金及び現金同等物の 増減額	△450	649	△1,099
現金及び現金同等物の 期首残高	6,242	5,593	649
現金及び現金同等物の 期末残高	5,792	6,242	△450

（注）記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

CHECK POINT

売上総利益率は27.8%と、前期の25.2%から2.6ポイント上昇しました。

売上総利益率



CHECK POINT

1. 営業活動によるキャッシュ･フローは、税金等調整前当期純利益が8億円となる中、売上債権及びたな卸し資産の減少と、仕入れ債務の増加により運転資本が縮小したことなどから、18億13百万円のプラスとなりました。

2. 投資活動によるキャッシュ･フローは、子会社株式：Takachiho Fire,Security & Services (Thailand)Ltd.及びマイティカード㈱の取得により12億78百万円を支出したことなどから、17億38百万円のマイナスとなりました。

3. 財務活動によるキャッシュ･フローは、配当金の支払2億43百万円や自己株式取得2億80百万円を行ったことなどから、5億24百万円のマイナスとなりました。

会社情報（平成24年6月27日現在）

Corporate Data

会社概要

設立	昭和27年3月
資本金（平成24年3月31日現在）	11億9,381万円
従業員数（平成24年3月31日現在）	264名（単体）、465名（連結）
取引金融機関	みずほコーポレート銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三菱UFJ信託銀行
主要業務	セキュリティシステム、情報ネットワークシステム、ICタグ応用システム、半導体及び機構部品等の輸出入及び販売・据付・保守サービス並びにシステム設計・システム運用受託等サービス
ホームページ	http://www.takachiho-kk.co.jp/

事業所

本社	東京都新宿区四谷1丁目2番8号 Tel.03-3355-1111(代)
大阪支店	大阪市北区梅田3丁目3番20号 (明治安田生命大阪梅田ビル) Tel.06-6453-1610(代)
名古屋支店	名古屋市中村区名駅南1丁目21番19号 (本州名駅ビル) Tel.052-582-2915(代)
札幌営業所	札幌市中央区北一条東1丁目4番地1号 (サン経成ビル) Tel.011-223-3552(代)
九州営業所	福岡市博多区店屋町8番24号 (九勧呉服町ビル) Tel.092-271-6759(代)
サービス網	全国300ヵ所
米国駐在員事務所	1400 Fashion Island Blvd. Suite 304, San Mateo,CA,94404 U.S.A Tel.650-574-3224

取締役・監査役

代表取締役社長兼社長執行役員	戸田秀雄
取締役兼執行役員	小原敬一
取締役兼執行役員	広木邦昭
取締役兼執行役員	平山英樹
取締役	田代守彦※
取締役	早野勉※
常勤監査役	武智良泰
監査役	柴崎伸雄※※
監査役	小海正勝※※
監査役	石原良一※※

（注）※は社外取締役です。※※は社外監査役です。

執行役員

執行役員	市川陽三
執行役員	横戸憲一
執行役員	平田嘉昭
執行役員	高山博喜
執行役員	赤堀寛人

連結子会社

株式会社エスキューブ	
事業内容	電子機器による盗難防止及び防犯管理システムの開発及び製造並びに販売
高千穂コムテック株式会社	
事業内容	メーリングシステムの輸出入及び販売並びに開発・サポート・サービス
ジェイエムイー株式会社	
事業内容	各種電子部品の輸出入及び販売
TAKACHIHO KOHEKI (H.K.) Ltd.	
事業内容	各種電子部品及び機構部品並びにセキュリティ機器の輸出入及び販売
提凱貿易（上海）有限公司	
事業内容	各種電子部品及び機構部品の輸出入及び販売
Takachiho Fire,Security & Services (Thailand) Ltd.	
事業内容	セキュリティシステム、防災用機器等の輸入及び販売・据付・保守サービス
マイティカード株式会社	
事業内容	RFID及び周辺機器のシステム開発並びに販売

株式情報（平成24年3月31日現在）

Stock Information

発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式の総数	10,140,300株
株主数	12,712名

大株主

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
株式会社マースエンジニアリング	804,000	7.92
セコム株式会社	450,000	4.43
日立オートモティブシステムズ株式会社	380,000	3.74
高千穂交易株式会社	349,669	3.44
株式会社みずほコーポレート銀行	300,600	2.96
栃本京子	300,000	2.95
山村秀彦	267,900	2.64
株式会社マーストーケンソリューション	265,000	2.61
竹田和平	241,700	2.38
明治安田生命保険相互会社	216,000	2.13

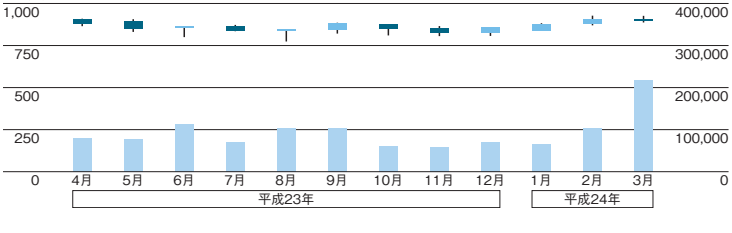
（注）持株比率は、小数第３位以下を切捨てて表示しております。

株式分布状況

- 金融機関 29名 0.23%
- 金融商品取引業者 22名 0.17%
- その他法人 73名 0.57%
- 外国法人等 33名 0.26%
- 個人その他 12,555名 98.77%

- 金融機関 1,515,900株 14.95%
- 金融商品取引業者 68,427株 0.67%
- その他法人 3,008,172株 29.67%
- 外国法人等 42,960株 0.42%
- 個人その他 5,504,841株 54.29%

株価・出来高の推移



株主メモ

- 事業年度　4月1日～翌年3月31日
- 期末配当金受領株主確定日　3月31日
- 中間配当金受領株主確定日　9月30日（中間配当を実施する場合）
- 定時株主総会　毎年6月
- 株主名簿管理人　三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先　三菱UFJ信託銀行株式会社
  証券代行部
  〒137-8081
  東京都江東区東砂七丁目10番11号
  TEL 0120-232-711
  （通話料無料）

【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等）のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。
TEL：0120-244-479（通話料無料）
インターネットアドレス：http://www.tr.mufg.jp/daikou/

- 上場証券取引所　東京証券取引所　市場第一部
- 公告の方法　電子公告により行います。
  公告掲載URL
  http://www.takachiho-kk.co.jp/
  （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。）
- 1単元の株式数　100株
- 株主優待制度　毎年3月末時点で100株以上保有している株主様に一律お米券3kg分を贈呈

第61回定時株主総会決議ご通知

平成24年6月27日開催の当社第61回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項

1. 第61期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）事業報告及び連結計算書類ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第61期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）計算書類報告の件

本件は、その内容について報告いたしました。

決議事項

第1号議案：剰余金の処分の件は、原案のとおり承認可決されました。
第2号議案：取締役6名選任の件は、原案のとおり承認可決されました。
第3号議案：監査役1名選任の件は、原案のとおり承認可決されました。
第4号議案：当社株式の大規模な買付行為に関する対応策（買収防衛策）の継続の件は、原案のとおり承認可決されました。

第61期期末配当金のお支払いについて

第61期期末配当金は、平成24年3月13日に創立60周年を迎えたことから、普通配当12円に記念配当5円を加え、1株につき17円と決定いたしましたので、同封の「期末配当金領収証」によりお支払いいたします。つきましては、払渡期間内（平成24年6月28日から平成24年7月31日まで）に、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

既に口座振込をご指定の方には、「期末配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」を同封いたしましたので、ご確認くださいますようお願い申し上げます。

株主の皆さまの声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 2676
いいかぶ 検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

e-株主リサーチ
※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社 a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL:info@e-kabunushi.com

高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.
〒160-0004　東京都新宿区四谷1丁目2番8号
TEL　03-3355-1111（代）
URL http://www.takachiho-kk.co.jp/

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK